

応援よろしくお願ひします!



SNSで「いいね!」やシェア

高橋ひでのり (高橋 秀典) Facebook

<https://www.facebook.com/hidenori.takahashi.773>



高橋ひでのり 公式ホームページ

高橋ひでのりと市政を考える会

<https://www.shiminnokaze.com/>



高橋ひでのりのサポーターになってください

ニュース「市民の風」を読む

年に4回程度発行する「市民の風」をお届けします。郵送料は無料です。

メールで高橋からの情報を受け取る

月に2~3回程度、メールで高橋からの情報をお送りします。

ニュース「市民の風」などのポスティングができる

ダイエットや健康づくりを兼ねて、ご近所などにポスティングをお願いします。

高橋のポスターを自宅の壁などに貼れる

ご自宅の外壁、駐車場の金網などに高橋のポスターを貼らせていただきます。

寄付(カンパ)ができる

※日本国籍をもつ個人の方のみ、寄付を受け付けております。※寄付控除をご希望の方は職業をお知らせください。

下のQRコードから
サポーター登録を
していただくか、
下記の連絡先までご連絡を
お願いいたします。



【振込口座】郵便振替(ゆうちょ銀行)口座

口座番号:00940-4-276901

口座名称:高橋ひでのりと市政を考える会

一般金融機関から

↓「ゆうちょ銀行」へのお振り込みの場合

支店名:〇九九店(ゼロキューキュー店)

科目:当座 口座番号:0276901

発行 高橋ひでのりと市政を考える会 [2022.11]

〒655-0894 神戸市垂水区川原2-1-16 谷本ビル202

TEL:070-7489-6715 FAX:078-330-3562

●電話対応:(休日を除く)月~金 9時~19時

Mail:takahashi.tarumiku@gmail.com URL:<https://www.shiminnokaze.com>



No.22 高橋ひでのりと市政を考える会・ニュース

市民の風 Kaze 保存版



高橋ひでのりの政治姿勢 P1・P2

プロフィール P3・P4

座談会 ~世代をつなぐ~ P5・P6

高橋ひでのりの重点政策 P7...P13

①生きづらさを抱えた人が自分を出せる場所をつくる

②子どもたちに多様な学びの場を保障する

③コロナ禍で生存権を守る

④市役所からワーキングプアをなくす

⑤動物と共に生きる

⑥住民ファーストでまちをつくる

⑦脱炭素・脱原発を神戸からめざす

久元神戸市政をどう見るか? P14

聴く
動く
変える

神戸市会議員(垂水区選出)

無所属 つなぐ神戸市会議員団

高橋 ひでのり

たかはし

発行 高橋ひでのりと市政を考える会 [2022.11]

〒655-0894 神戸市垂水区川原2-1-16 谷本ビル202

TEL:070-7489-6715 FAX:078-330-3562

●電話対応:(休日を除く)月~金 9時~19時

Mail:takahashi.tarumiku@gmail.com URL:<https://www.shiminnokaze.com>



コロナ対策実現数 ナンバーワン!
政務活動費 全額返還 オンリーワン!



ごあいさつ

この冊子を手にとっていただきありがとうございます。
私、高橋ひでのりは、2019年4月に神戸市議員に初当選させていただきました。
市政相談や「希望の葉っぱ」に市政要求を書いていただくことでみなさんの声を聴き、動き、神戸市政を変えてきました。
この冊子では、高橋が今後、重点的に取り組みたい政策をまとめました。
お読みいただくとありがたいです。

高橋ひでのり



高橋ひでのりは、 コロナ対策実現数 ナンバーワン!



高橋ひでのり市政相談所にて

当事者から声や要求を

聴く!

現場や話し合いの場に

動く!



スマスイ再整備反対署名



コロナ自宅療養支援セットの改善を求める

具体的な質疑で
市政を

変える!



高橋ひでのりは、 政務活動費全額返還 オンリーワン!

神戸市議員の報酬は高すぎる! 4年で約1600万円の政務活動費を返還!

高橋は、2019年の選挙のときから、年額約1600万円の議員報酬の引き下げを求めてきました。「引き下げ可能なことを身をもって示したい」との思いから、別枠で支給される「政務活動費」年額456万のうち、会派の共通経費を引いた約400万円を毎年神戸市に返しています。そして下記の円グラフのように報酬の大半を政治活動に使っています。

高橋ひでのり 直近1年の会計報告

(2021年10月1日～2022年9月30日)

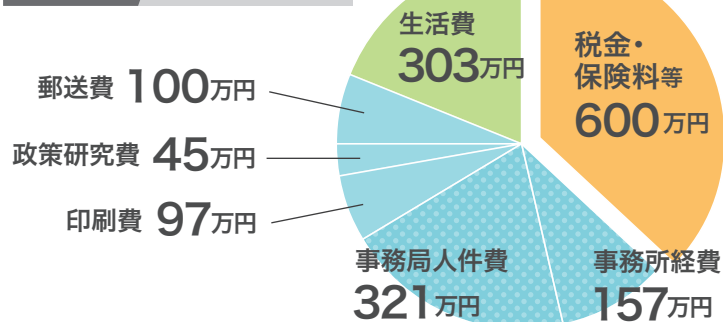


収入 1623万円

カンパ・後援会会費等
41万円

議員報酬
1582万円

支出 1623万円



※金額は概数

高橋ひでのり プロフィール



「どもり」がひどかったこども時代



父と一緒に

1957年 埼玉県生まれ。
幼少期「どもり」がひどかったが、両親の愛情のおかげで、自己肯定感を持つことができ、徐々に改善。



高校時代は甲子園を目指して野球に熱中。
ポジションはレフト。

生活保護ケースワーカーになると決めた大学時代



1977年 京都大学経済学部に入學。
貧困問題について学び、なんとかしなければと痛感。
精神障がい者の友達の悩みを聞いたことがあり、大勢を相手にする教師よりも、一対一で話を聴くケースワーカーになろうと決意。

神戸市職員として、神戸市民として



避難所で生活相談

1984年 大学卒業後、神戸市に就職。生活保護ケースワーカーとして勤務。

1995年 阪神淡路大震災時、避難者の生活保護受給に奮闘。垂水区役所等で国保・年金業務を担当。

2001年 9.11 アメリカ同時多発テロ発生、その後イラク戦争反対など平和運動に参加。

2011年 3.11 東電福島第一原発事故を機会に脱原発運動に参加。

同年 精神保健福祉士の資格取得、精神障がい者の成年後見ボランティアに参加。

2013年 塩屋の人と街に魅せられて垂水区に転入。



2017年 3月 59歳で退職。

2019年 4月 神戸市議会議員選挙(垂水区)に立候補し4162票で初当選。

つなぐ神戸市議会議員団の政調会長。

2019年度 総務財政委員会

2020~2021年度 福祉環境委員会

2022年度~ 都市交通委員会委員



つなぐ神戸市議会議員団



神戸ヒヨコ登山会で100回登山表彰

- 身長 169cm
- 血液型 B型
- 趣味 ゴスペル・登山
- 家族 妻
- 好物 納豆などのネバネバ系
- 座右銘 多様性の尊重
- 体重 66kg
- 星座 いて座

世代をつなぐ 20代×30代=60代？



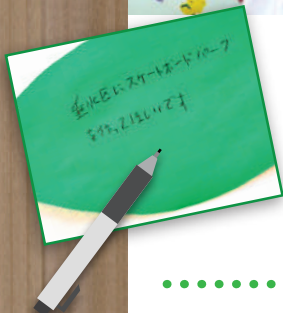
松尾 剛志さん (20代)

介護ヘルパー
スケートボーダー

稲岡 加那子さん (30代)

自立訓練施設の生活支援員
発達・精神・摂食障がい当事者

神戸市政への希望を高橋ひでのり市政相談所の「希望の木」に貼っていく「希望の葉っぱプロジェクト」。このプロジェクトに「スケートボードパークがほしい」と書いてくれた20代の松尾さん。摂食障がい当事者で、自立訓練施設(福祉事業所)で働く30代の稲岡さん。そして60代の高橋がざっくばらんに語り合ってみました。



「スケートボードパークがほしい」と書いたワケ



中学の頃、学校とか周りの環境が自分に合わず不登校になったんです。スケートボードに出会ってからはそこが自分の居場所になりました。みんな自分の好きな技を見せ合って、ありのままの自分を出せる。周りの人たちも自由で、枠にとらわれてない人が多くて…。そういうところが人間関係として楽やなと思っていました。

今の学校は標準モデルを押し付けられる、今の学校だとぜったい僕もはみ出ていると思う(笑)。



そうそう“普通はこうだ”みたいな。でも普通っておかしいじゃないですか。十人十色、みんな違うのに…。
“障がい者”はあんまり好きじゃない言葉です。みんなできることとできないことが違う。統計の平均が“普通”とされていて、社会に適應できてる人が“正しい”という風潮になってる気がします。

障がい者という表現は好きじゃない



私も“障がい者”という表現は好きじゃなくて…。障がいは社会と自分の間にある“壁”だと感じています。今働いている自立訓練施設は、障がいはその人の一部だという意識が定着しています。“障がい者”ではなく、障がいを一部に持つ、一人の同じ人間として、人を見ているので、ありのままの自分を出すことができます。だから生きづらさを抱えている人が元気になる場所になっているんだと思うんです。

感覚が鋭くていろいろぶつかったり、感受性が強くて浮き沈みがある。そういう子も発達障がいと言われてしまう。豊かに表現できるアーティストとして評価される可能性もあるのに…。
発達障がいということば自体が違う気がする。



ほんとうにその通りだと思う。感覚の鋭さがネガティブに障がいと表現されてしまっている。摂食障がいも実は多くの方が発達障がいがある元があり、感覚の鋭さや感受性の豊かさ故に人よりもストレスを感じやすく、そのストレスのために依存症や精神疾患になる人が多いんです。



僕も発達障がいと診断されて手帳も持っていたんです。薬を飲んで、自分を消して、馴染みやすくして学校に行っていました。がしんどかったです。そんなときに通っていたフリースクールや放課後デイサービスが支えになってくれた。今は自分と同じように学校に行きづらい、行きたくてもいけない子達を支援する放課後デイサービスと、スケートボードパークを併設したスケートボードショップを作ることが僕の夢です。

市会議員のシゴトが見えた！

今まで、市会議員として一番一生懸命やっていることを聞かれたときに、生きづらさを抱えている人を「支えたい」とか、生きづらさを「減らしたい」と言っていたが、後ろの表現が決まらなかった。
今日のお二人の話を聞いて、生きづらさを抱えた人が「自分を出せる場を作る」。自立訓練施設だけでなく、学校、職場、、、あちこちでそういう場を作ることが自分のシゴトだと確信できました。



1 生きづらさを抱えた人が自分を出せる場所をつくる



ギャンブル依存症家族会といっしょに司法書士会に要請



スケートボードやBMX(自転車競技)などの練習場所をつくる
東京オリンピックで競技する人は増えましたが、練習場所が足りません。須磨海岸の社会実験施設を恒常的な施設に、垂水区内の公園にも練習場を建設させます。



依存症や精神障がい者の居場所を作る
アルコール・ギャンブル・ゲーム・摂食障がいなどの依存症や精神障がい者が回復のきっかけとなる自助グループや家族会への公的支援を拡充します。



性的少数者が不利益を受けない仕組みを実現する
性の在り方は多様です。LGBTQなど性的少数者が生きづらさを感じずに済むように公文書から性別記載を減らします。同性パートナーシップ制度を実現し、国に同性婚法制化を求めます。



ネットモニタリングを拡充しヘイトや偏見をなくす
SNSにおいては外国人や障がい者、性的少数者などへの差別や偏見が残っています。市役所がネットモニタリングを強めてヘイト行為をなくします。

2 こどもたちに多様な学びの場を保障する



神戸市子ども家庭センターの生活ルールの改善を求め、中学生と共に記者会見



市会傍聴に訪れたフリースクールの子どもたち



フリースクールなど多様な学びの場への公的支援を実現する
不登校は問題ではありません。多様な子どもたちに多様な学びの場を保障するために、フリースクール等に子どもを通わせる家族への公的支援を実現します。



放課後学習支援など地域の力でこどもの学習を支援する
小学校から学力格差が深刻になっている一方で教員も多忙です。地域のボランティアが主体となって子どもに関わる「放課後学習支援事業」をひろげます。



地域密着型の子育て支援拠点を作る
食支援をきっかけにした子育て相談事業を拡充し、一時預かり・里親支援・養護施設出身者支援なども行える「子育て支援拠点」を各区に作ります。



子ども家庭センターからこどもの権利実現を発信する
神戸市子ども家庭センターは、虐待などから子どもを守る拠点です。一時保護所の改善をはじめ、すべての業務にこどもの権利実現を貫くよう求めていきます。

③ コロナ禍で生存権を守る



中央市民病院内のコロナ専門病棟



神出病院事件 国会での院内集会に報告者として参加



保健所オンライン確認センターの拡充で第8波に対応する

発熱外来が足りません。医療機関を補完する「保健所オンライン確認センター」で、検査と医師の診断だけでなく抗ウイルス薬の服用も可能にし、第8波に対応します。



精神病院から虐待をなくす

神出病院事件で精神病院での患者虐待が明らかになりました。病院も障がい者虐待防止法の対象にし、虐待を未然に防ぎ安心して入院できる病院に変えます。



一人ひとりの障がい者に即した支援体制を作る

人員不足が深刻な計画相談支援員への公的支援を拡充し、障がい者がサービス利用の計画を作る際に専門家の支援を受けられるようにします。



生活保護制度への偏見をなくす

暮らしに困ったときに生活保護を受けることは私たちの権利です。制度への偏見をなくすために、生活保護法を生活保障法に変えるように国に働きかけます。

④ 市役所からワーキングプアをなくす



区役所業務の丸ごと業務委託に反対する

区役所の基幹窓口業務(住民登録や保険年金)が大手派遣会社に丸ごと委託されようとしています。待ち時間の拡大や住民サービス低下を招く、丸ごと業務委託に反対します。



会計年度任用職員に対して無期転任の条件を示させる

市役所に勤める職員の3分の1以上が会計年度任用職員(有期雇用)です。業務水準を維持するために、職種によっては希望者の無期雇用転任への条件づくりを求めます。



公契約条例を制定し、市役所関連業務の労働者の生活を守る

市役所が民間に仕事を発注する際には、最低賃金や労働基準法遵守を条件に入れさせます。再委託は中抜きにより労働条件を引き下げするため反対します。



国民健康保険料を安くするために一般財源を投入する

無職の加入者を多く抱える国民健康保険は、社会保険に比べ構造的に保険料が高いです。統合を目指しますが、当面は一般財源を投入して格差を縮小します。

5 動物と共に生きる



みんなの王子公園を求めるパレードに参加



スマスイを神戸っ子から奪わないで！パレードに参加



王子公園という市民の共有財産を民間に切り売りせず守る

王子公園再整備案は、公園の一部を切り離し大学などに切り売りする計画です。公園のスペースを維持し、スポーツもできる都会のオアシスにします。



王子動物園は動物との共生ゾーンとして拡充する

王子動物園は、飼育員の声を聴いて自然環境に近い展示方法に変えます。動物共生センターを王子公園に移転し、殺処分ゼロを実現する動物愛護の拠点とします。



新スマスイのシャチのショーに反対し21世紀型水族園を求める

動物虐待との批判もあるシャチやイルカのショーに反対します。水生動物との共生をテーマにバーチャル展示も活用した21世紀型的水族園を求めています。



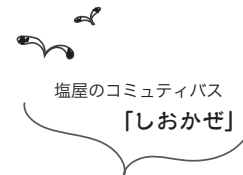
環境事業所やクリーンセンターを環境保護の拠点にする

生物多様性を維持するためには、特定外来生物駆除や環境保護活動が必要です。環境局の各区の事業所が地域住民の活動と連携するよう求めます。

6 住民ファーストでまちをつくる



塩屋のまち



地域の資源を再発見し、個性を生かしたまちをつくる

地域がもともと持っている自然や人、文化などを掘り起こし、その地域ならではのまちづくりを進めます。若者移住が増えている塩屋の実践を参考にします。



有機農業を促進しオーガニック給食を実現する

市街地の生ごみや下水汚泥を近郊農業で活用するなど地域循環型システムを作ることで有機農業を増やします。学校単位での食育から始めてオーガニック給食を実現します。



地域の足として公共交通を守る

鉄道・バス・タクシーなどの公共交通が無くなることによる社会的コストや環境負荷を算出し、それに見合う公的支援で支えます。住民参加で多様な交通手段を作ります。



街灯だけでなく私道への公的支援を拡充させる

垂水区に多い私道。公共性の高い道路の維持には公的支援が欠かせません。街灯設置で全額補助を実現したことをふまえて、公的支援を拡充します。

7 脱炭素・脱原発を神戸からめざす



気候危機・自治体議員の会スタンディング



多井畑西地区に残る水田



気候市民会議で市民参加の脱炭素社会を作る

2050年に脱炭素を実現するカギは市民が握っています。抽選で選ばれた市民が脱炭素施策作りに参加し、気候危機を自分事にします。



住宅の断熱性能をアップさせ省エネを推進する

電力などエネルギー料金が高騰する今こそ省エネの推進が急務です。2022年に始まった神戸市の既存住宅断熱改修支援制度を利用しやすくします。



太陽光発電など再エネを拡大し原発ゼロへ

屋根貸太陽光発電事業や次世代太陽電池(ペロブスカイトなど)の開発促進で太陽光発電世帯を増やし、神戸市内の再エネ比率を高めます。



多井畑西地区などの里山や六甲山を保全する

須磨区と垂水区にまたがる多井畑西地区など里山を地権者や市民と共に保全します。登山や魚釣り、家庭菜園など自然と共に生きるライフスタイルを推奨します。

久元神戸市政をどう見るか？

阪神淡路大震災後1998年に「神戸空港はみんなで決めよう」という住民投票運動が盛り上がりました。有権者の3割を超える署名が集まりましたが、神戸市役所は住民自治を尊重せず、空港建設を強行しました。そのあと2013年から久元神戸市政が始まっていますが、いま住民自治は尊重されているのでしょうか？



市民の共有財産が切り売りされている



久元市政のもとで、市民の共有財産を安易に民間に売り渡す事態が起きています。須磨水族園の再整備においては、30億円の補修費用を節約するために、市民に愛されてきた水族園という優良教育施設を民間レジャー企業に売却しました。王子公園再整備も久元市長は、駅前一等地を活用する目的で大学誘致にこだわっています。その結果、市民が王子公園に求める動物園の魅力向上は後回しにされるのです。

政策決定のプロセスが不透明

さらに、久元市長の政策決定のプロセスは市民に公開されていません。週に1回開催している副市長会議の議事録はすべて非公開。局長以上が参加する「政策会議」ですら、一部の議題が公開されただけです。王子公園再整備でなぜ大学誘致が決まったのか？政策の決定過程がわからなければ住民参加はありえません。



そのため、高橋が所属するつなぐ神戸市会議員団では神戸市の一般会計予算や決算に反対しています。

住民自治を尊重する神戸市政に変えましょう。